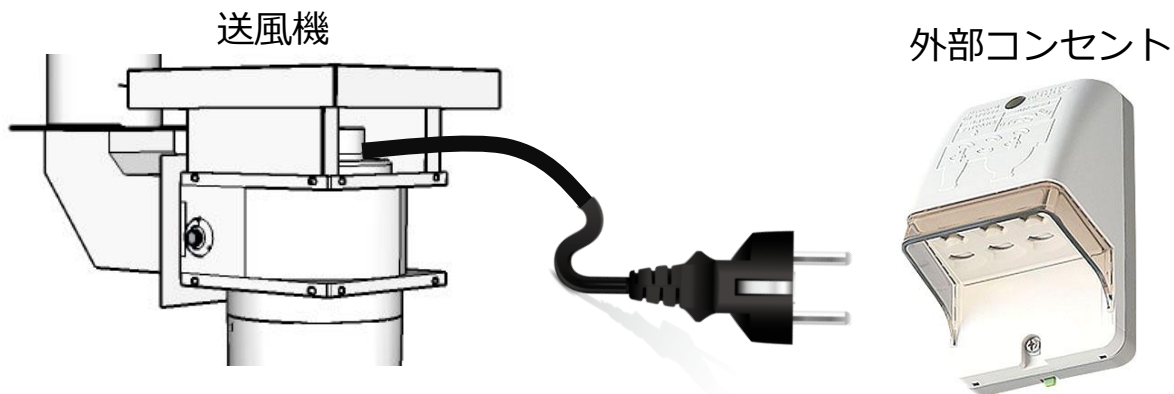


# 強制排気筒DRACO 施工マニュアル

C L I E

18.03.14

# 1. 送風機用外部コンセントの設置

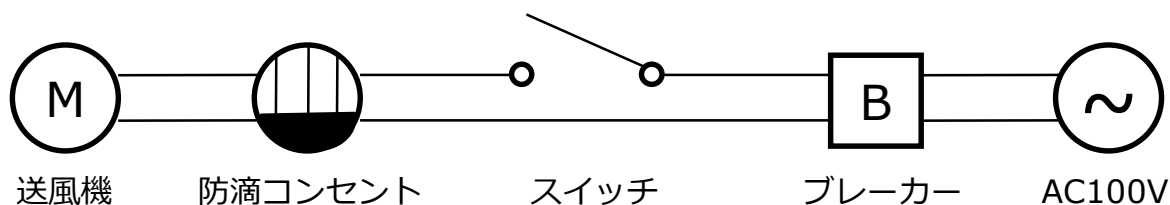


送風機から**1m以内**に外部コンセントを設置

- ・ 送風機用外部コンセントは送風機から**1m以内**に設置してください。
- ・ 室内の窯付近に外部コンセント用 ON/OFF スイッチを設置してください。

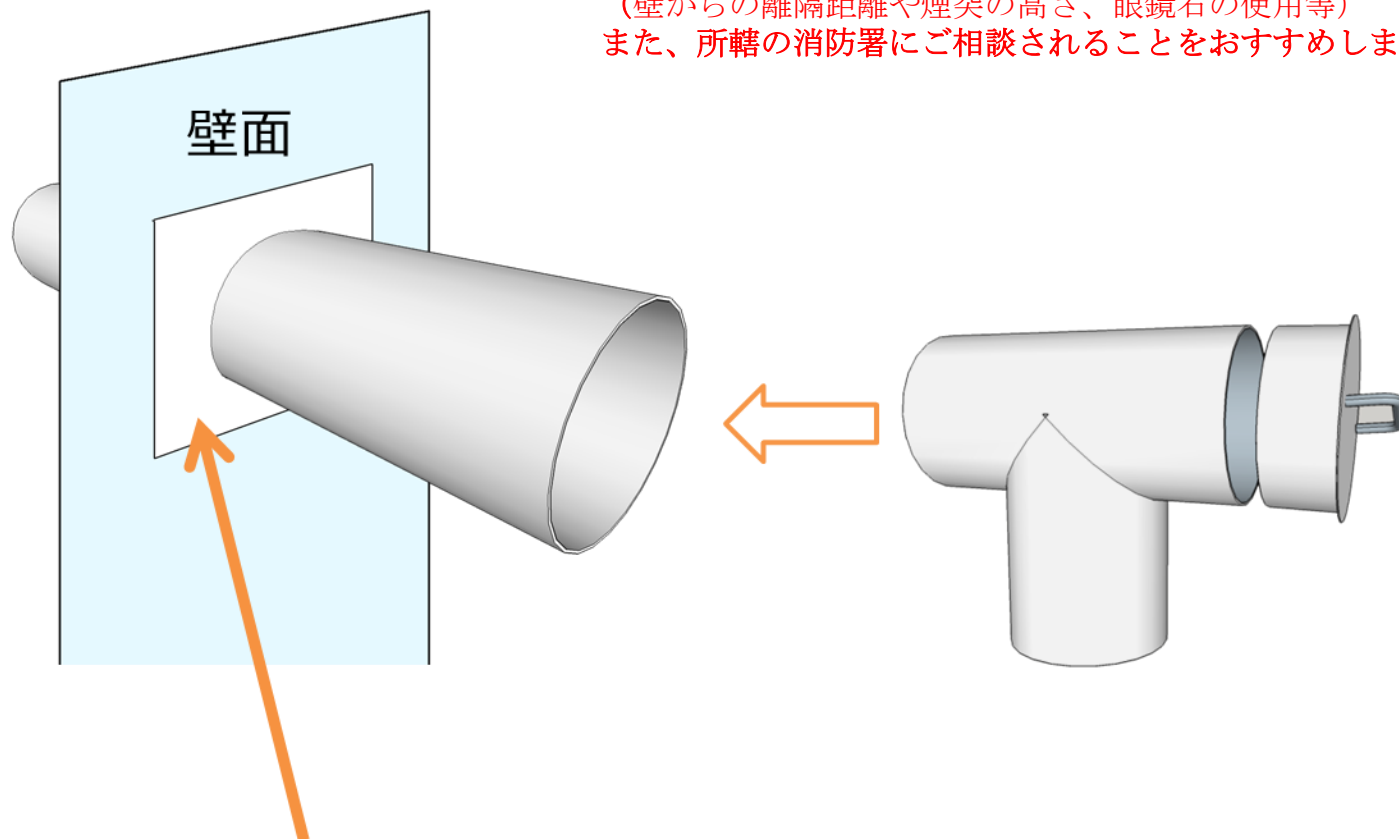
※ ファン電源に単独ブレーカーを設けることをお勧めします。

配線例



## 2. 屋外までの配管

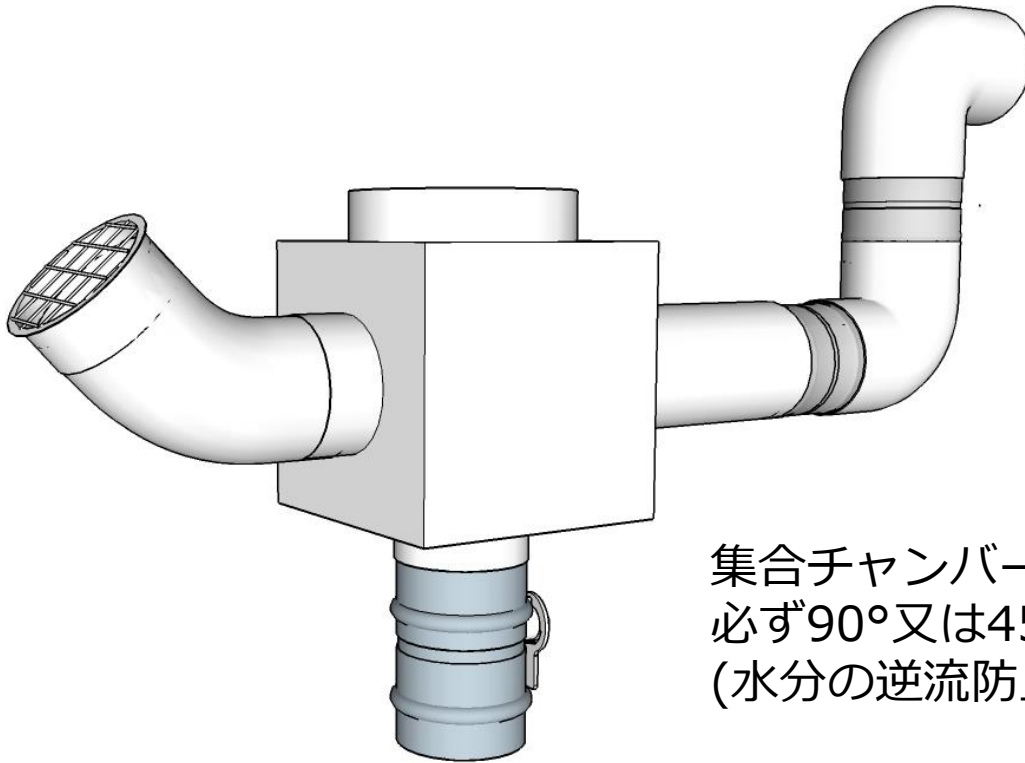
◆ 設置の際には、各地の火災予防条例の順守をお願いします。  
(壁からの離隔距離や煙突の高さ、眼鏡石の使用等)  
また、所轄の消防署にご相談されることをおすすめします。



- 壁を通す場合は眼鏡石を使用する。
- 屋内側ダクトにはロックウールを巻いて断熱処理する。

### 3. 集合チャンバーの接続

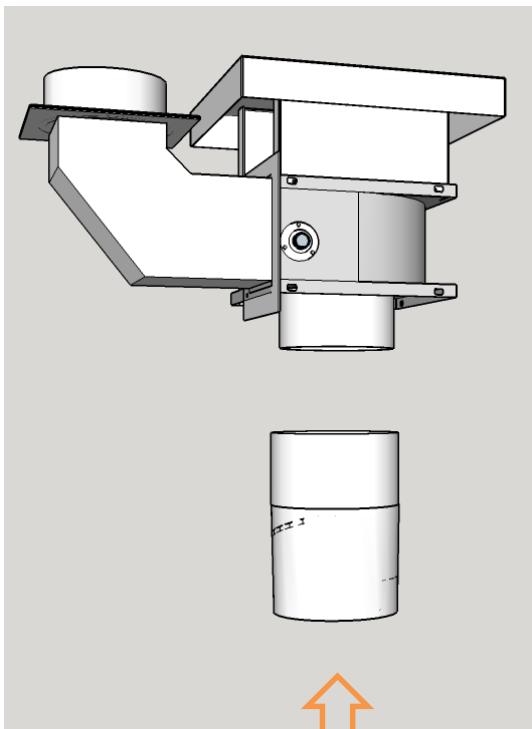
---



集合チャンバーへの接続は、  
必ず90°又は45°Lをご使用ください。  
(水分の逆流防止の為)

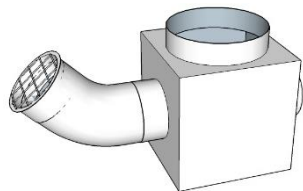
- ・ 屋外まで出たダクトへ集合チャンバーを接続する。

## 4. 煤塵除去筒・送風機の接続



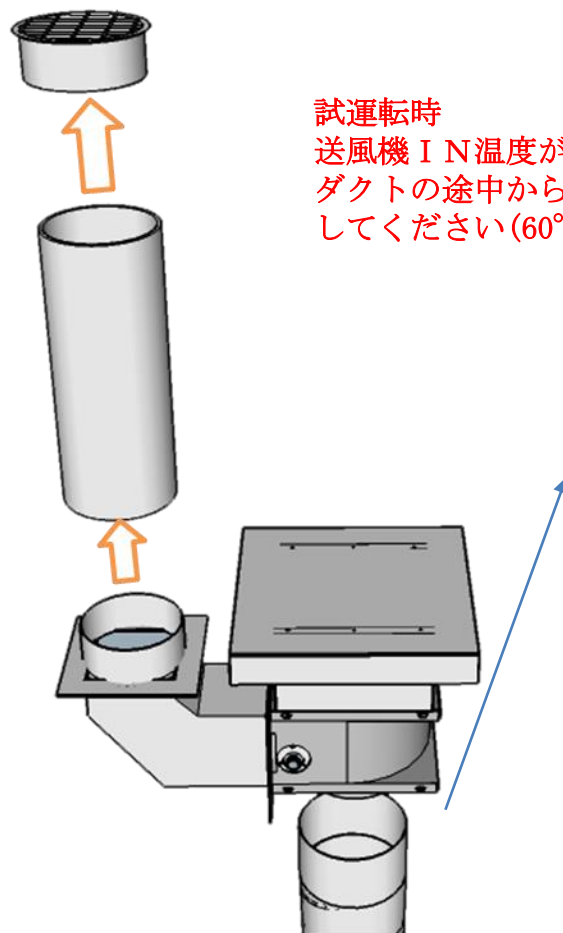
\* 送風機は設置条件によって  
Φ1、100V 200W～400Wとなります。

\* 簡易煤塵除去接続筒



- ・ 集合チャンバー後の上側、煤塵除去筒と送風機を繋ぐ。

# 5. 吹き出し口接続

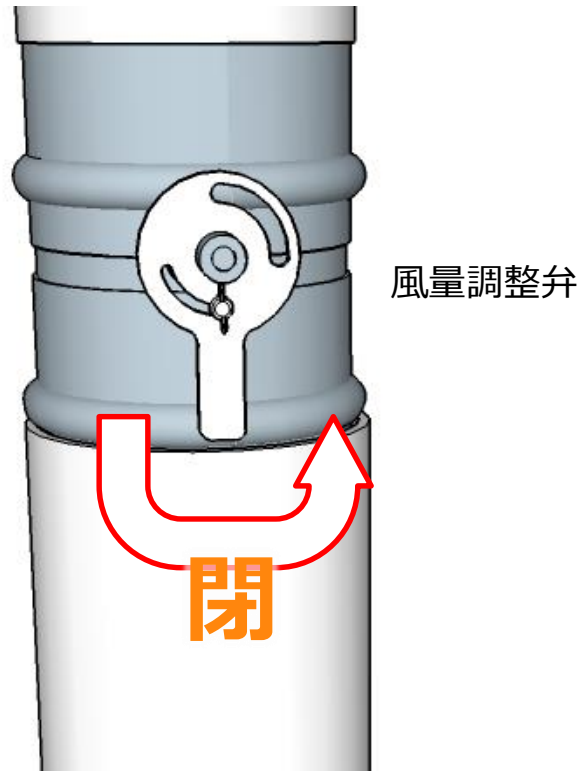


試運転時

送風機 I N 温度が下部ダンパーを全開にしても60℃以上の場合は、ダクトの途中から外部空気を取入れて60℃以下になるように調整してください(60° 以上だと送風機寿命が短くなります)

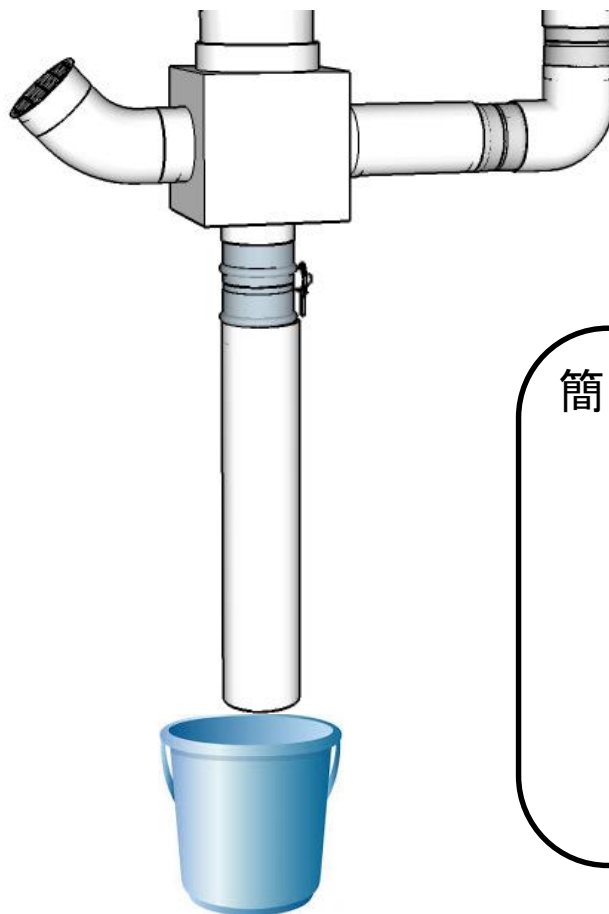
- 接続筒へ吹き出し口を適宜繋ぐ。先端には防鳥網を取付ける。

## 6. 風量調整



- ・ファンを稼働させ適正風量に風量調整弁で調整してください。

# 7.集合チャンバー下側



## 簡易排水処理装置(別売)

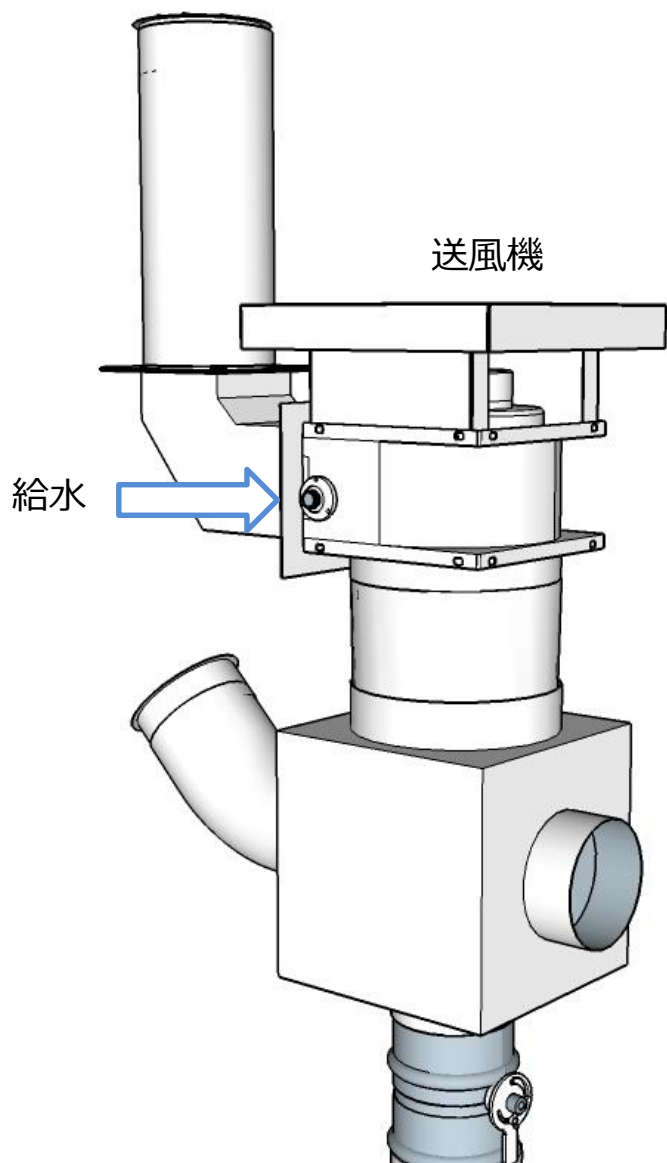
排水処理装置内にセットしてある  
オイルキャッチャーは、油を吸っ  
て水を吸わない油吸着材です。  
海難事故等で流出した重油を回収  
する作業に使用される高性能素材  
です。



- ・ダンパー、ダクトを接続し、排水のためのバケツ等を用意する。
- ・簡易排水処理装置（別売）もご用意しております。



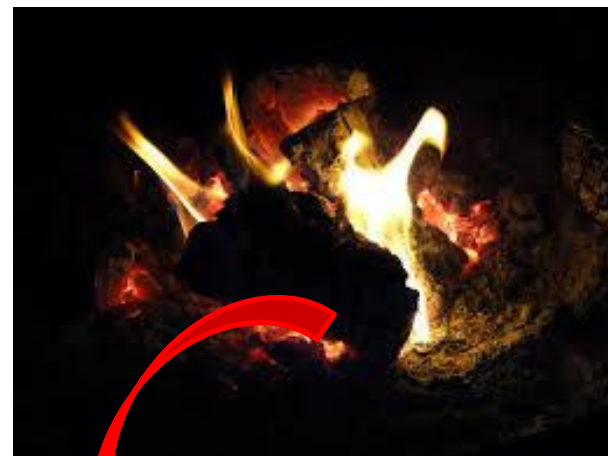
## 8. ファン洗浄水の接続およびファン洗浄



- 送風機の洗浄用に1.5Aニップルが取り付けられています。  
園芸用カチット等を接続してご使用下さい。
- 洗浄時は送風機の**スイッチを必ずオフ**にしてください。
- 清掃は週1回、3分程度を目安に行ってください。
- 洗浄終了後は給水元栓を閉じて下さい。

## 9. 送風機が緊急停止した場合

- 停電等により送風機が停止した場合、そのまま排気を続けられますと、送風機内の温度が上昇し、故障の原因になります。
- 送風機が停止しましたら、残った炭や薪を直ちに消壺等に移して、送風機内の温度上昇を防いでください。



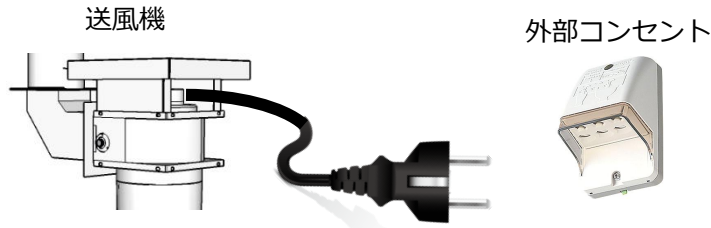
# 10. 送風機の交換

YouTube ~ 煤取装置のファン(送風機)交換方法~  
<https://www.youtube.com/watch?v=4Z7x9QaCNdE&t=1s>  
からもご覧いただけます。

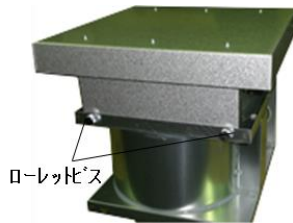
- 送風機から異音が発生するようになりましたら、送風機を交換して下さい。

## ファンモーター及び羽根部交換方法

- 外部コンセントから送風機のプラグを抜きます。



- 4カ所のローレットビスを外して、ファンカバーを取り外します。



- 交換用ファンの噴出口側にマジックで印がつけてあります。既存のファンの同位置に印をつけて、交換する時に、位置がわかるようにしておきます。」



- ファンモーターの固定ねじを手動ドライバーで取り外します。交換用ファンからも取り外しておいて下さい。

※電動ドライバーの使用は、ビス山を潰す恐れがありますので、避けて下さい。



- モーター及び羽根部を取り出します。交換用のファンも取り外しておいてください。



- 交換用のモーター及び羽根部をマジックの印を合わせて、差し込み、固定ネジで固定します。

- ファンに接続したプラグを外部コンセントに差し込みます。ファンカバーを外したローレットビスで取付けて下さい。

※ファンの電線が長い場合でもモーター部に巻きつけるのはやめて下さい。